

## 大根中学校区学校整備懇話会 開催結果

会議名	令和 6 年度 第 1 回 大根中学校区学校整備懇話会		
開催日時	令和 6 年 10 月 31 日 ( 木 ) 午後 6 時 ~ 午後 8 時		
開催場所	広畑ふれあいプラザ 4 階多目的ホール		
出席者	大根地区自治会連合会会長	秦野精華園長	
	広畑小学校長	東海大学教授	
	大根小学校長	大根中PTA会長	
	大根中学校長	秦野市	
	大根公民館長	秦野市教育委員会	
議 題	1 大根中学校区学校整備懇話会について		
	2 懇話会規約 (案) について		
	3 みんなで考えるみらいの学校整備指針について		
	4 国の政策動向について		
	5 今後の検討の進め方について		
配付資料	資料 1	大根中学校区学校整備懇話会名簿	
	資料 2	大根中学校区学校施設整備構想策定に係るロードマップ	
	資料 3	大根中学校区学校施設整備構想策定に係る組織体制	
	資料 4	大根中学校区学校整備懇話会規約 (案)	
	資料 5	国における学校教育に関する政策動向	
	資料 6	令和 6 年度大根中学校区学校整備懇話会 開催概要	
	机上配付	みんなで考えるみらいの学校整備指針	
<b>会 議 概 要</b>			
<b>1 大根中学校区学校整備懇話会について</b>			
資料 1・2・3 に基づき、市教委から説明			
<b>2 懇話会規約 (案) について</b>			
資料 4 に基づき、市教委から説明			
① PTA連絡協議会とあるが、連絡協議会の表記は不要であるため、修正をしたほうがよい。 ⇒承知した。			
<b>3 みんなで考えるみらいの学校整備指針について</b>			
机上配付資料 (みんなで考えるみらいの学校整備指針) に基づき、市教委から説明			
① 指針の策定に当たり、子どもに対するヒアリングや意見を聞く場面はあったのか。もしくは今後そのような場面が作られるのか。 ⇒指針はあくまで皆さまと共に考えていくための基礎資料としてお示ししていく。子どもに対する意見等については、この懇話会での子ども部会などの形を通して、意見を聞いていきたいと考えている。			

#### 4 国の政策動向について

資料5に基づき、市教委から説明

- ① 主体的で対話的で深い学びという表現があるが、具体的にはどういうことか。  
⇒子どもたちが自ら学びを求めて、対話をしながら学びを深めていく。一人で何かするというのではなく、友達や仲間、様々な人達と共に学んでいくという考え方となる。
- ② 14人以下の学級という研究事例もある中で、国が35人以下を示している。広畑小は一番少ないクラスで12人となり良いかと感じるが、国の指針に必ずしも合わせて行く必要はないのではないか。  
⇒少なければ良いという、なかなか単純な話ではなく、例えば広畑小のように児童が少ないとなると、それに伴い、教員の数も圧倒的に少なくなってしまう。教室という空間だけを捉えれば、先生と少ない子どもたちという話で済むが、学校全体で捉えた場合は学校を運営するスタッフが少ないというのは、授業以外の部分で影響が出てしまう恐れもある。少なければ少ないほど良いということでもなく、多ければ多いほど良いということでもない。社会性を育む中で一定の集団性というものも重要であるため、バランスは大事だと考えている。

#### 5 今後の検討の進め方について

資料6に基づき、市教委から説明

- ① ゴールイメージは令和6年度中に目指すということか。  
⇒その通り。しかしながら、この懇話会で決定するというのではなく、あくまで意見交換という形で、最終的には市が責任をもって令和7年度の整備構想を策定していきたいと考えている。
- ② 例えば敷地の選定のような具体的な議論に当たって、今後資料等が出てくるのか。  
⇒その通り。各回を通して懇話会での意見交換を進めていくに当たり、その回のテーマに対応する材料を出していきたいと考えている。

#### 6 その他

事務局から今後の会議スケジュールについて報告

備考